

本講演は新居浜の旧広瀬邸から発見された1通の文書からはじまる

『五代友厚・広瀬宰平と

北海道開拓使事件』

～明治14年の政変の謎に迫る～

大阪商法会議所・大阪株式取引所等を設立し、大阪実業界の基礎を確立



(出典：国立国会図書館)

五代友厚

朝の連ドラ「あさが来た」で注目され、映画「天外者(てんがらもん)」の主人公



広瀬宰平

日本の産業革命の先駆者として、別子銅山の近代化を推進

薩長藩閥政府が大隈重信^{ほうべん}追放の方便として利用した北海道開拓使官有物払い下げ事件。広瀬は五代に何を進言し、なぜ五代は沈黙を守ったのか。広瀬と五代の往復書簡を通し、事件の真相に迫る。

日時

令和4年5月21日(土)

14:00～15:30

場所

あかがねミュージアム
多目的ホール

(新居浜市坂井町2-8-1)

定員 150名

主催 新居浜市

申込み 電話・FAX・メールで氏名、連絡先をお知らせください(当日参加可)

※ 参加者に「新居浜市のあゆみ」特製クリアファイルを進呈
駐車場満車の場合は第2駐車場を利用ください(裏面参照)

講師

住友史料館研究顧問

末岡 照啓氏

1955年長崎県生まれ

1978年國學院大学文学部史学科卒業

元住友史料館副館長・広瀬歴史記念館名誉館長



旧広瀬邸から発見された「五代友厚弁明書」は平成28年(2016)3月26日放送のNHKBSプレミアム「英雄たちの選択」、令和4年(2022)3月23日放送の関西テレビ「報道ランナー」で取り上げられ、末岡氏が解説のため出演している。本年5月刊行予定の著書『五代友厚と北海道開拓使事件』(ミネルヴァ書房)はこれをまとめたものである。

申込み・問い合わせ先：新居浜市総務部市史編さん室

電話：0897-65-1567 FAX：0897-65-1208 E-mail：sisihensan@city.niihama.lg.jp

あかがねミュージアム 周辺駐車場ごあんない P



あかがねミュージアム 駐車場ごあんない

利用時間
9:00～22:30

駐車料金 (一時駐車)
1時間まで 100円
30分を超える30分ごとにつき 100円

休館日および利用時間以外は駐車できません

第1駐車場 (北駐車場・南駐車場)

当館をご利用の際に駐車いただけます
駐車後しばらくすると地面のパーが上がり
出庫の際は精算機で料金をお支払いください

地下駐車場 (関係者・福祉車両専用)

搬入・搬出のための関係者車両および福祉車両のための専用駐車場です
(一般の方の駐車はご遠慮ください)

車いす、歩行のお手伝い等が必要な方などのご利用でお越しの方は、関係者専用搬入口からお入りください

館内へは通用口(赤いトビラ)をご利用ください
9:30～17:00以外の時間は鍵が閉まっていますので
ご利用の方はインターホンをご利用ください (9:00～22:00)

第2駐車場

当館をご利用の際に駐車いただけます

利用時間
9:00～22:30

駐車料金 無料

休館日および利用時間以外は駐車できません

*あかがねミュージアムをご利用の場合に限り、駐車いただけます。
*駐車場は、休館日および利用時間以外に入庫できません。
(利用時間にかかわらず駐車料金が加算されますので、お気をつけください)

あかがねミュージアム周辺は、土・日曜日・祝日やイベント開催時たいへん混雑し、満車のため駐車場に入庫できないことがあります。ご来館の際は、できるかぎり公共交通機関をご利用ください。また、近隣の方へのご迷惑となりますので周辺道路、他施設の駐車場への駐車はおやめください。ご理解、ご協力くださるよう、よろしくお願い申し上げます。

● 駐車場の割引サービス

あかがねミュージアム「第1駐車場 (北駐車場・南駐車場)」

当館をご利用の場合に限り3時間まで無料
総合案内(1F)までお越しください [3時間無料 駐車サービス券] をお渡します
*ただし3時間以降は超過料金がかかります。

● 満車の際は

あかがねミュージアム「第2駐車場」(無料)

「新居浜駅南駐車場」・「新居浜駅南口広場駐車場」(有料・3時間まで無料でご利用いただけます)
をご利用ください。

*これまでは「新居浜駅南駐車場」をご利用の際に「駐車券」サービス処理をしておりましたが、処理不要となりました。当館の利用にかかわらず、ぜひご利用ください。

「新居浜駅前駐車場」は新居浜駅利用者のための駐車場です。駐車はご遠慮ください (あかがねミュージアムの 駐車場割引サービスはありません)



- 駐車場内での事故・トラブルや盗難等につきましては一切責任を負いません。
- 騒音等、周りに迷惑となる行為はおやめください。
- 大変危険です。お子様から目を離さないように、保護者の方はお気をつけください。
- 道路の横断は大変危険です。必ず横断歩道を渡ってください。

